

令和 3（2021）年 4 月市長臨時記者会見の概要と質疑応答

令和 3（2021）年 4 月 28 日（水曜日）
午後 6 時～6 時 30 分
柏崎市役所多目的室

1 発表事項

(1) 市内での新型コロナウイルス感染症患者（市内 61～63 例目）の発生について

（主管：防災・原子力課）

4 月 27 日に、市内で新型コロナウイルス感染症患者が新たに 3 名確認されました。

市内 61 例目は、柏崎市居住の 20 歳代会社員の男性です。4 月 26 日に咳、味覚・嗅覚障害が出たため、医療機関を受診し、PCR 検査を実施、27 日に陽性が判明しました。現在の症状は、咽頭痛があるとのことです。

市内 62 例目は、柏崎市居住の 40 歳代会社員の男性です。4 月 26 日に味覚障害が出現したため PCR 検査を実施、27 日に陽性が判明しました。現在の症状は、味覚・嗅覚障害があるとのことです。

市内 63 例目は、柏崎市居住の 30 歳代無職の女性です。市内 62 例目のご家族であり、濃厚接触者として 4 月 27 日に PCR 検査を実施し、陽性が判明しました。現在の症状は、咳が出ているとのことです。

すでに市内 61、62 例目の濃厚接触者などに関しては新潟県が確定し、それぞれ PCR 検査を実施または準備が進められているとの報告を受けています。

(2) 新型コロナワクチン接種について

（主管：健康推進課）

柏崎市は、4 月 23 日から 75 歳以上の方々に接種券を発送し、予約を始めました。予約方法は、電話、インターネット、LINE の 3 種類ですが、電話がつながらないという苦情が非常に多くありました。また、インターネットはできないというお話もいただいています。

この状況を改善してもらいたいという声が非常に大きいので、今朝、担当の福祉保健部や危機管理部に指示を出し、コールセンターのオペレーターを増員しました。また、インターネットによる予約が分からない場合には、ご家族にお力添えをお願いしたいということと、近所に市職員がいる場合には、市職員に声を掛けていただければお手伝いさせていただくという趣旨の連絡をこれからしたいと思います。

(3) 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について

(主管：商業観光課)

先ほど、新型コロナウイルス感染症に関して新潟県の本部会議が開催されました。その中で、新潟県は飲食店の認証制度を考えているという話がありました。

柏崎市は先んじて、柏崎商工会議所の正副会頭とも相談し、市と商工会議所双方が、安心して楽しめるお店であると認証する独自の認証飲食店制度を作っているところです。認証の要件は、入店前の検温や手指消毒、店内の消毒、1 時間半以内の利用、カラオケなし、アクリル板などによる飛沫感染予防などです。この連休明けから機能できるように最終的な詰めを行っています。連休中には飲食店に制度に関する連絡をしたいと思っています。認証店には、認証店と分かる証明書のようなものをお渡しします。

一番厳しい状況にある飲食店を応援するため、認証制度と併せたさらなる経済支援も考えているところです。

2 質疑応答

◎市内での新型コロナウイルス感染症患者の発生に関する質問

記者：感染者は東京電力関係と聞いているが、これまでの流れの中での感染者なのか、それ以外の新規の感染者なのか伺いたい。

市長：東京電力の協力企業またはその子会社、またはそのさらなる協力企業の従業員の感染が、4月21日から始まっています。4月21日の感染者の居住地は十日町市で、勤務地が6号機構内でした。そこから連鎖が始まり、本日発表した3人の陽性者もその関連またはそのご家族です。市内61、62例目は、感染者の濃厚接触者としてPCR検査を受けたのではなく、それぞれ味覚障害などを感じて医療機関を受診し、医療機関の指示でPCR検査を受けたものです。

本日発表した感染者の情報は、昨日の段階で市に連絡がありました。東京電力サイト内の感染が連続していることから、昨日、東京電力柏崎刈羽原子力発電所の石井所長から市役所にお越しいただき、このような連鎖を止めてもらいたいというお話をしました。東京電力本社ではなく、子会社や協力企業、そのまた協力企業ということで、ガバナンスは難しいかもしれませんが、例えば、構内にある診療所の中でPCR検査を行えるような体制を組むことを検討していただきたいと伝えました。

記者：変異株はまだ柏崎市内では確認されていないという認識でよいか。

市長：新潟県からは柏崎市で変異株が確認されたという連絡は受けていません。

記者：東京電力で協力企業を含めて感染が続いているが、原因をどのように考えるか。

市長：基本的には市外で感染された方からの連鎖であると理解しています。

記者：協力企業の職場環境で、改善してほしいところがあるなどの分かりやすい情報があれば伺いたい。

市長：全員ではないですが、6号機構内というある程度の共通項があり、寮に住んでいる方も複数いらっしゃるというような情報しか私どもも持っていません。

記者：以前、東京電力との連絡がスムーズにっていないという話があったが、改善はあったか。

市長：少なくともこの1週間の中ではスムーズな連絡が行われていると承知しています。

◎新型コロナワクチン接種に関する質問

記者：電話がつながらないという苦情が多くあったという話だが、どれぐらいの件数か。

市長：電話がつながらないというお叱りの声は、1日当たり25件から30件ほどです。他にも問い合わせの電話などはきています。おかげさまで75歳以上のワクチン接種予約は5割近くになりました。

記者：オペレーターを増員したとのことだが、何人から何人になったのか。

市長：8人から4人増やして12人にしました。

◎新型コロナウイルス感染症に係る経済対策に関する質問

記者：認証制度は、認証するにとどまるのか、経済対策とセットで行うのか。

市長：経済対策とセットで考えています。

記者：詳細はまだ決まっていないか。

市長：連休明けまでには作りたいと思っています。

◎原発の40年ルールに関する質問

記者：本日、福井県知事が40年超の原発再稼働に同意したが、市長の受け止めと40年ルールに対する考え方を伺いたい。

市長：私は再三申し上げていますが、国は、原則は 40 年、特例で最長 20 年の延長が可能と
していますので、私はそのように理解しています。

記者：特例が初めて認められたことに対する考えはどうか。

市長：国が示している、原則は 40 年であるということを支持しますし、最長 20 年の延長が
可能であるという特例も支持しています。それ以上でも以下でもありません。

記者：市長の就任会見のときに、40 年ルールは堅持すべきだと話されていたと記憶してい
るが、その考えは変わったということか。

市長：全く変わっていません。最初から、国が決めた 40 年ルールを基本的に守るべきである
と思っています。もし国が方向性を変えて、原則を 50 年や 60 年と言ったならば、その段階
で私なりの見解は申し上げますが、国が 40 年の原則を変えるという話は聞いていませんので、
基本的にそれは堅持されるべきだと考えています。

記者：柏崎刈羽原子力発電所では 1 号機が最も古く、2025 年に運転開始から 40 年を迎える
が、市長は 1 号機の延長運転や廃炉に関してどう考えるか。

市長：いまだその計画も出てきていませんし、東京電力ならびに国が 1 号機をどうするかと
いう方向性も出ていませんので、私としては、特定の号機に関して私自身の見解を持ち合わ
せていません。

記者：早く方向性を出してほしいという思いはあるか。

市長：私が申し上げているのは、7 つ全てを運転することは認めないということ。徐々に確
実に減らしていくべきであり、再稼働すべきものは再稼働すると申し上げていますので、そ
の中で東京電力がどのように判断するのかということだと思います。